

2009年

12月13日(日)

13:00~17:00

於：日本学術会議講堂

日本学術会議・史学委員会  
歴史学とジェンダーに関する分科会

# 公開シンポジウム

教科書からサブカルチャーまで

# 歴史教育とジェンダー

●13:00~13:10 長野ひろ子(中央大学教授・連携会員) 趣旨説明

\*\*\*

●13:10~13:25 富永智津子(元宮城学院女子大学教授・連携会員)

高校世界史教科書のジェンダー化にむけて—日本とアメリカの比較

●13:25~13:35 桜井万里子(東京大学名誉教授・第一部会員)

古代ギリシアの社会をジェンダーの視点から読み解いてみる

●13:35~13:45 井野瀬久美恵(甲南大学教授・連携会員)

奴隷貿易にジェンダーの視点をクロスオーバーさせる

\*\*\*

●13:45~14:00 久留島典子(東京大学教授・連携会員)

高等学校日本史教科書にみるジェンダー

●14:00~14:10 長野ひろ子(中央大学教授・連携会員)

女性史・ジェンダー史の成果は教科書に生かされているか  
—日本近世の場合

●14:10~14:20 荻野美穂(同志社大学教授・連携会員)

歴史教育の役割—「歴史」と「自分」を架橋するために

\*\*\*

●14:20~14:40 香川檀(武蔵大学教授・特任連携会員)

ミュージアムとジェンダー—展示による経験の可視化をめぐる

●14:40~15:00 藤本由香里(明治大学准教授・特任連携会員)

「女たちは歴史が嫌い」か?—少女マンガの歴史ものを中心に

\*\*\*

●15:20~17:00 討論(15:00~15:20 休憩)

司会 姫岡とし子(東京大学教授・連携会員)

三成美保(摂南大学教授・連携会員)

◆主催 日本学術会議・史学委員会・歴史学とジェンダーに関する分科会

◆共催 ジェンダー史学会、総合女性史研究会

◆後援 イギリス女性史研究会、イメージ&ジェンダー研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、京都橘大学女性歴史文化研究所、国際基督教大学ジェンダー研究センター、女性史総合研究会、中国女性史研究会、東京女子大学女性学研究所、奈良女子大学アジア・ジェンダー文化研究センター、一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学研究センター、歴史科学協議会、歴史学研究会、歴史教育者協議会、早稲田大学総合研究機構ジェンダー研究所

◆アクセス 東京メトロ千代田線乃木坂駅5番出口徒歩1分(東京都港区六本木7-22-34)

◆お問い合わせ先 naganohi@tamacc.chuo-u.ac.jp

◆参加申し込みは不要です。当日会場まで直接お越しください。参加費は無料です。



シンポジウム「歴史教育とジェンダー—教科書からサブカルチャーまで」の開催について

- 1 主催 日本学術会議 史学委員会 歴史学とジェンダーに関する分科会
- 2 共催 ジェンダー史学会、総合女性史研究会
- 3 後援 イギリス女性史研究会、イメージ&ジェンダー研究会、お茶の水女子大学ジェンダー研究センター、京都橘大学女性歴史文化研究所、国際基督教大学ジェンダー研究センター、女性史総合研究会、中国女性史研究会、東京女子大学女性学研究所、奈良女子大学アジア・ジェンダー文化学研究センター、一橋大学大学院社会学研究科ジェンダー社会科学研究センター、歴史科学協議会、歴史学研究会、歴史教育者協議会、早稲田大学総合研究機構ジェンダー研究所
- 4 日時 2009年12月13日(日) 13:00~17:00
- 5 場所 日本学術会議講堂
- 6 開催趣旨

我が国は、1999年男女共同参画社会基本法を公布、即日施行し、男女共同参画社会の実現に向け大きく一步を踏み出した。しかしながら、日本におけるジェンダー格差は、21世紀に入った今日でも他の先進諸国に比べ格段に開いているのが実状である。このような状況になったのはなぜなのか、男女共同参画社会を実現するための有効な手立ては何か等々を考えていく場合、日本におけるジェンダーの歴史的変容を解明することは不可欠な学問的営為であると同時に、その研究成果が教育を通じて国民に共有され、歴史認識ならびに歴史意識の深みから男女共同参画社会実現への道筋を見通していくこともまた重要である。

本シンポジウムは、現代日本の歴史教育をジェンダーの視点から見直し考えていくことを主眼としている。その場合、グローバル化する現代世界において、諸外国の歴史教育も視野に入れつつ問題点を明らかにすること、さらに、歴史教育を学校での教科書を使った授業という範囲にとどめることなく、マンガなどサブカルチャーの分野で活発に展開されている場合も広義の歴史教育として捉え、検討の対象とすることにした。

## 7 次 第

司会 姫岡とし子（東京大学教授・連携会員）・三成美保（摂南大学教授・連携会員）  
13:00 開始

- 13:00～13:10 趣旨説明 長野ひろ子（中央大学教授・連携会員）
- 13:10～13:25 高校世界史教科書のジェンダー化にむけて—日本とアメリカの比較  
富永智津子（元宮城学院女子大学教授・連携会員）
- 13:25～13:35 古代ギリシアの社会をジェンダーの視点から読み解いてみる  
桜井万里子（東京大学名誉教授・第一部会員）
- 13:35～13:45 奴隷貿易にジェンダーの視点をクロスオーバーさせる  
井野瀬久美恵（甲南大学教授・連携会員）
- 13:45～14:00 高等学校日本史教科書にみるジェンダー  
久留島典子（東京大学教授・連携会員）
- 14:00～14:10 女性史・ジェンダー史の成果は教科書に生かされているか—日本近世の  
場合  
長野ひろ子（中央大学教授・連携会員）
- 14:10～14:20 歴史教育の役割—「歴史」と「自分」を架橋するために  
荻野美穂（同志社大学教授・連携会員）
- 14:20～14:40 ミュージアムとジェンダー—展示による経験の可視化をめぐって  
香川檀（武蔵大学教授・特任連携会員）
- 14:40～15:00 「女たちは歴史が嫌い」か？—少女マンガの歴史ものを中心に  
藤本由香里（明治大学准教授・特任連携会員）
- 15:00～15:20 休憩
- 15:20～17:00 討論
- 17:00 終了

※ 事前申し込みは不要です。当日会場まで直接お越しください。参加費は無料です。